

## 「CNF とキチン NF 夢と現実、そしてこれから」

日本における CNF 研究が始まってから 20 年が経ちました。“鋼鉄の 1/5 の軽さで鋼鉄の 5 倍強いナノ繊維”は様々なところで CNF の代名詞の様になっています。しかし、その実力と実際に使った時のパフォーマンスに差を感じている方は多いのではないのでしょうか。高性能素材として夢を見て、がっかりされている方や本当のところ CNF はどうなのだろうか？と疑問を持たれている方も多いと思います。

今年度のナノセルロースシンポジウムは、TEMPO 酸化 CNF、機能材料用 CNF、構造用 CNF、キチン NF の夢（ポテンシャル）と現実（材料開発の現状）、そしてこれから（今後の方向性）について、長年にわたりそれぞれをリードしてきた研究者が思う存分に語ります。また、最後には、CNF の実用化に関する最新の報告があります。バイオマス由来の高性能材料、カーボンニュートラル、サステナビリティに関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

主催：京都大学生存圏研究所、

バイオナノマテリアル共同研究拠点（経済産業省 J イノベ拠点）

[\(https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/bionanomat/\)](https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/bionanomat/)

共催：近畿経済産業局、地方独立行政法人京都市産業技術研究所、

環境省ナノセルロース・プロモーション事業、ナノセルロースジャパン

日時：令和 4 年 3 月 29 日（火）13:00-17:40

対面（先着 30 名、見学会あり）とオンライン配信（Zoom）のハイブリッド開催。

会場：京都大学生存圏研究所 木質ホール 3 階 大会議室

定員：1000 名（申込先着順）、参加無料

プログラムおよび申込方法は下記 URL をご覧ください。

[https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/bionanomat/news/nanocellulose\\_symposium\\_2022/](https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/bionanomat/news/nanocellulose_symposium_2022/)